



## 5歳の調査が始まります

こども調査は今年で6年目を迎えました。今年度から5歳の質問票調査を開始します。質問票は、お子さんの成長の様子を知り、これまでにいただいたデータと合わせて研究するためとても貴重なものになります。

現在進行中の3歳半の調査では、質問票調査に加えてお子さんの採血もお願いしており、これまでに質問票は234人、採血は90人(2019年6月現在)にご協力いただきました。たくさんの方にご協力いただきありがとうございます。

今までいただいた情報をもとに、1ページ目で紹介したような重要な結果が得られてきました。これも皆様のご協力のおかげと感謝しております。

これからも、未来の子ども達の健康に役立てるための研究をさらに進めています。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 乳歯研究が始まります!

こども調査では、乳歯を分析して、体内に取り込まれた化学物質を調べる研究を行います。この研究のため、抜けていらなくなつた乳歯を提供してくださる方を募集します。

来年(2020年)の3月頃に、詳しいご案内と回収



## わたしのお気に入り BOOK

(by こども調査事務局スタッフ)

### おおきなおおきなおいも



楽しみにしていた芋ほり遠足が雨で延期、しかし幼稚園の子供達は巨大な芋の絵を描いて想像の世界に入りこみます。絵はシンプルですがおいもの世界が壮大で、そのギャップにクスッと笑ってしまいます。実際の園での遊びからヒントを得て作られたお話だけに、本当に子ども目線の絵本です。

ページ数はあるのですが、リズム良く読めるので、子ども達と楽しく読むことができた思い出の絵本の一つです。一筆書きで描けてしまいそうな園児のキャラクターが何とも愛らしくて、私のお気に入りです。(by高橋)

作 者:赤羽未吉  
出版社:福音館書店

### こんとあき



『こん』はずっと同じ姿のキツネのぬいぐるみ、『あき』は赤ちゃんで登場し、『こん』と一緒に可愛い女の子に成長します。長い間一緒に遊んできた、ほろびが出てきてしまった『こん』をなおしてもらうため、おばあちゃんの住むまちへ二人で行く物語です。

旅の途中では車掌さんの、最後はおばあちゃんの優しさに触れて、とてもあたたかい気持ちになります。素敵なお話は優しいタッチと色づかいで描かれていて、私と娘のお気に入りの一冊です。(by藤岡)

作 者:林明子  
出版社:福音館書店



### ご連絡・お問い合わせ先

千葉大学予防医学センター

TEL 043-290-3003(9:00~17:00 お盆、年末年始、土日曜・祝日を除く)

〒263-8522

千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学工学系総合研究棟I 7階

E-mail : kids-cpms@chiba-u.jp http://cpms.chiba-u.jp/kids/

ご住所などに変更があった場合は、必ずご連絡いただきますようお願いいたします。

## こども調査 胎児期に始まる子どもの健康と発達に関する調査



いつもこども調査にご協力いただきありがとうございます！

# こども調査つうしん

第6号

2019年6月発行

こども調査オリジナルキャラクターの二人

クウくん ミィちゃん

### アレルギーについてのお話

「こども調査」は、お子さんを取り巻く環境がお子さんの健康に及ぼす影響や、そのしくみについて調べています。今回は、こども調査の研究テーマの一つであるアレルギーについてお話しします。

アレルギー疾患は、乳幼児期に発症し、成長につれて次々にほかの症状が出てくることが多く、「アレルギーマーチ」と呼ばれています。食物アレルギー→アトピー性皮膚炎→喘息→アレルギー性鼻炎や花粉症というパターンが多く見られますが、違う経過をたどることもあり、症状が重なることもあります。



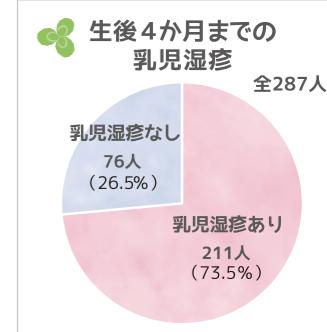
最近の研究により、皮膚が荒れると、そこから食物やダニなどアレルギーの原因となる物質が体内に入り、食物アレルギーなど他のアレルギー疾患にもなりやすいうことがわかつてきました。

新生児や乳幼児で、アトピー性皮膚炎になるよりも早い時期に「乳児湿疹」ができるお子さんがたくさんいます。こども調査では、生後4か月までに乳児湿疹ができたお子さんが、その後アレルギー疾患になりやすいのかを調べました。

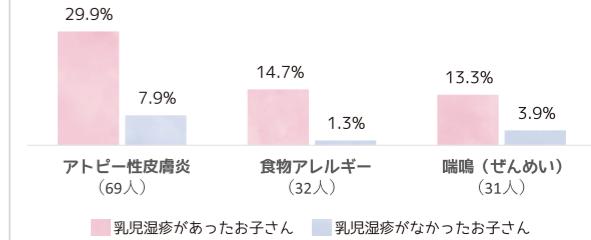
お子さん287人のうち、乳児湿疹ができたお子さんは211人(73.5%)でした(右の図)。

乳児湿疹があるお子さんがすべてアレルギー疾患を発症するわけではありません。

しかし、乳児湿疹ができたお子さんは、乳児湿疹がなかったお子さんに比べて、生後10か月頃のアトピー性皮膚炎、食物アレルギーや喘鳴(ぜんめい)のなりやすさが3倍から11倍高いことが分かりました(下の図)。



### 生後10か月でのアレルギー疾患 乳児湿疹の有無比較



小さいお子さんは大人にくらべて皮膚が薄く、肌が乾燥して荒れやすいものです。

赤ちゃんのときから肌荒れを防ぎ、肌を保湿するスキンケアをしてあげると、皮膚のバリア機能(異物の侵入を防ぐ機能)が高まり、お子さんのアレルギー疾患を予防する効果があるようです。



こども調査では、乳児湿疹やアレルギー疾患が起こる要因について、研究を続けています。

また、アレルギーだけでなく、さまざまな健康状態についても調べていきます。

未来の子どもたちの健康につながる研究のため、これからもご協力をよろしくお願いいたします。

こちらは、やさしい博士がわかりやすく説明する癒し系バーチャルルームです

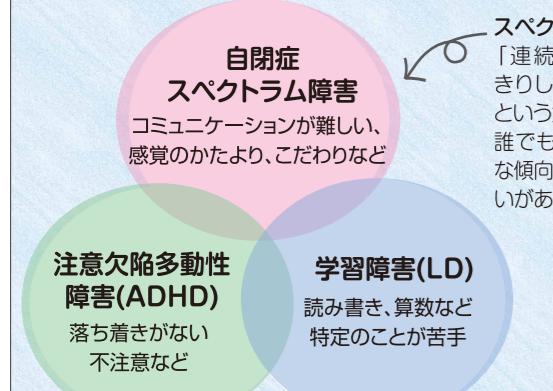
## マンガでわかるこども調査ルーム

第4回のテーマ

### 「発達障害」って？



主なものは次の3つで、症状が重なっていることもあります。



スペクトラムとは、「連続していく、はっきりした境目がない」という意味です。誰でも多少はこのような傾向があり、程度に違いがあるだけなのです。

答え1 発達障害は、育て方が悪くて起こるのではなく、生まれる前の脳神経の発達のしかたに違いが生じて起こります。

生まれる前の脳神経の発達には、色々な遺伝子や体に入る物質がかかわっていて、原因は一つではないんです。

化学物質  
栄養

栄養

化学物質

栄